

# 旅館・ホテルに多大な被害

## CO中毒事故 未然に防げ!

6月2日、山口県美祿市の山口秋芳プラザホテルで、修学旅行生22人が病院に搬送され、同行のカメラマン1人が死亡するという一酸化炭素(CO)中毒事故が起こった。ホテルの社長は会見で「安全管理の認識が薄かった」と反省の言葉を述べたが、結局、廃業を余儀なくされた。旅館・ホテル業の防災のあり方を改めて感じさせる事故と言えそうだ。

COは炭や石油、ガスを対象にガス警報器についでガス漏れの場合は不完全燃焼により発生するが、無色・無臭のため発生しても気が付かない。CO濃度が1%を超えれば頭痛が起これば、最悪の場合死に至ることもある。

CO中毒事故は正しい換気を行うことで防止することができ、かつ、ガス交換を怠る場所からして換気扇の点検やCO警報器の設置は必須である。また、CO警報器は火災とCOとを感知する複合型警報器が一般的で、COとCOとを感知する単体型警報器もある。慣れない言葉に驚いたことについては、ガス警報器業者や消防団などに相談してもらう。警報器の取り付けは、同業者が一般消費者に説明する必要がある。

### 「警報器」設置で 安全性アップ



CO警報器

警報器はガスの種類に合ったものを選び、正しい位置に取り付け、正しく動作しているかを確認する必要がある。最近では1台でガス漏れ以外に、火災やガスの不完全燃焼で発生したCOも感知できる複合型警報器も開発されており、感知した内容によって声で知らせてくれる。CO警報器は単体で9,500円、複合型で1万5,000円程度だが、CO事故による被害の大きさを考えれば決して高くはない。同業者は旅館・ホテルに対し、当館はCO警報器も設置してあり、万全の体制をとっています。というメッセージをアピールしよう。

### 警報器の種類と違い

ガス警報器工業会 09年6月調べ

警報器の種類	ガス警報器		CO警報器
	LPガス式	都市ガス式	
主な販売ルート	ガス販売事業者	ガス事業者	ガス販売事業者 ガス事業者
取り付け場所	天井	天井	天井
取り付け場所	壁(上方)	壁(下方)	壁(上方)
警報する対象	LPガスが漏れたとき反応	都市ガスが漏れたとき反応	COで反応(不安燃焼)
法律	消防法 義務化	液化ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法規 一部義務化あり	なし
交換期限	5年	5年	5年
保証期限	品質保証1年	品質保証・賠償保障5年	品質保証・賠償保障5年
電源	電池(10年ぐらいたまは保証はしていない)またはAC100V	AC100V	AC100Vまたは電池

### 【組み合わせ】

火災警報器			※電気店等(ガス店でも可)
LPガス警報器	CO(一酸化炭素のみ)	火災とCO(重要)	※LP販売店で取扱い
都市ガス警報器	ガスとCO	火災とCO(重要)	※都市ガス事業者で取扱い

## 安全のための重要なお知らせです

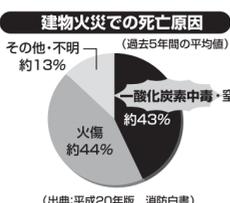
目に見えない、臭わないから危険です。

お客様の安全を第一に考えて、

## 「CO(一酸化炭素)警報器」の設置がより安心です。

建物火災の死亡原因の約43%がCO(一酸化炭素)中毒・窒息によるものです。

住宅火災による死亡者が5年連続して全国で1000人を超えています。そして、火災で亡くなった方の約43%がCO(一酸化炭素)中毒や窒息が原因です。COは目に見えない、臭わない。だから危険です。



▶▶▶ 購入はご利用のガス屋さんで。

### ガス警報器工業会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目16番2号  
TEL.03-5157-4777 FAX.03-3597-2717 http://www.gkk.jp

# 08年クルーズ人口 前年比3%増の19万人

## 国土交通省調べ

### 外航・国内クルーズ乗客数の推移

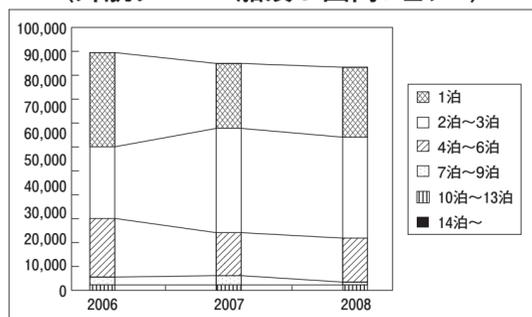
(単位:人)

年	外航クルーズ				国内クルーズ				合計	
	日本船社運航船	外国船社運航船	小計	対前年比	外航クルーズ船	内航フェリー	小計	対前年比	対前年比	対前年比
1999	22,700	48,100	70,800	-2.7%	92,900	5,600	98,500	-4.3%	169,300	-3.6%
2000	21,100	109,400	130,500	84.3%	83,400	2,000	85,400	-13.3%	215,900	27.5%
2001	18,400	96,900	115,300	-11.6%	81,600	3,200	84,800	-0.7%	200,100	-7.3%
2002	18,600	74,800	93,400	-19.0%	73,000	2,300	75,300	-11.2%	168,700	-15.7%
2003	10,100	48,700	58,800	-37.0%	77,800	3,400	81,200	7.8%	140,000	-17.0%
2004	15,600	57,700	73,300	24.7%	82,900	3,800	86,700	6.8%	160,000	14.3%
2005	16,700	61,200	77,900	6.3%	73,900	4,400	78,300	-9.7%	156,200	-2.4%
2006	20,000	65,200	85,200	9.4%	85,000	6,500	91,500	16.9%	176,700	13.1%
2007	21,400	74,600	96,000	12.7%	85,000	2,600	87,600	-4.3%	183,600	3.9%
2008	20,100	82,900	103,000	7.3%	83,700	3,000	86,700	-1.0%	189,700	3.3%

### 外航クルーズ目的別シェア推移

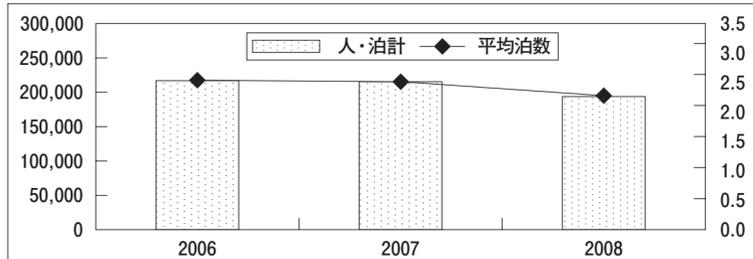
目的	2005年 (シェア)	2006年 (シェア)	2007年 (シェア)	2008年 (シェア)
レジャー	73,100 93.8%	77,200 90.6%	89,400 93.1%	96,800 93.9%
(うち日本船社)	12,000 15.4%	12,000 14.1%	14,800 15.4%	13,800 13.4%
インセンティブ	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
セミナー	2,900 3.7%	800 0.9%	2,200 2.3%	2,900 2.8%
団体旅行	800 1.0%	3,700 4.3%	1,700 1.8%	600 0.6%
交流	1,100 1.4%	3,500 4.1%	2,700 2.8%	2,800 2.7%
計	77,900 100.0%	85,200 100.0%	96,000 100.0%	103,100 100.0%

### 国内クルーズ泊数別乗客数推移 (外航クルーズ船及び国内フェリー)



泊数	2006年 (シェア)	2007年 (シェア)	2008年 (シェア)
1泊	36,100 39.5%	25,200 28.7%	26,900 31.1%
2~3泊	28,200 30.8%	39,800 45.4%	39,300 45.1%
4~6泊	22,000 24.0%	16,900 19.3%	16,900 19.5%
7~9泊	4,000 4.4%	4,600 5.2%	2,500 2.9%
10~13泊	1,200 1.3%	1,200 1.4%	1,000 1.2%
14泊~	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
乗客数	91,500 100.0%	87,700 100.0%	86,600 100.0%
人・泊数	251,000	245,000	224,700
平均泊数	2.7泊	2.8泊	2.6泊

### 国内クルーズ人泊数の推移 (外航クルーズ船のみ)



### 国内クルーズ目的別シェア推移

目的	2005年 (シェア)	2006年 (シェア)	2007年 (シェア)	2008年 (シェア)
レジャー	56,600 72.3%	66,000 72.1%	70,600 80.5%	75,800 87.5%
(うちワンナイト)	27,100 34.6%	26,100 28.5%	19,300 22.0%	13,100 15.1%
インセンティブ	7,200 9.2%	10,200 11.1%	3,100 3.5%	3,200 3.7%
セミナー	4,700 6.0%	1,300 1.4%	2,700 3.1%	1,100 1.3%
団体旅行	9,800 12.5%	10,100 11.0%	2,300 2.6%	1,700 2.0%
交流	0 0.0%	3,900 4.3%	4,300 4.9%	4,800 5.5%
その他	0 0.0%	0 0.0%	4,700 5.4%	0 0.0%
計	78,300 100.0%	91,500 100.0%	87,700 100.0%	86,600 100.0%

調査データ

特集

